



Hewlett Packard
Enterprise

HPバージョンコントロールレポジトリ リマネージャー 7.5 Update 2 リリース ノート

摘要

HPバージョンコントロールレポジトリマネージャー（HP VCRM）およびHPバージョンコントロールエージェント（HP VCA）は、HP Insight Managementで標準の単一サーバー管理ツールであるHP System Management Homepage（HP SMH）と統合されています。また、HP Insight Managementに含まれているHP Systems Insight Manager（HP SIM）は、ソフトウェアのバージョン管理、更新、および関連するタスクを容易にするためにHP VCRMとHP VCAを使用します。

© Copyright 2004, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

商標

Adobe® および Acrobat® は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Java は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Microsoft®、および Windows® は、Microsoft Corporation の商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

© 2012 Google Inc. All rights reserved. Google Chrome™ は、Google Inc.の商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

目次

1 新機能.....	4
2 機能および変更通知.....	5
HP VCRM の機能.....	5
3 問題と回避策.....	6
HP VCRM.....	6
4 ドキュメントに関する注意事項.....	9
5 サポートと他のリソース.....	10
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	10
アップデートへのアクセス.....	10
HP が所有していないソフトウェアコンポーネントについてのセキュリティ報告およびアラート ポリシー.....	10
サブスクリプションサービス.....	11
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録.....	11
ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法.....	11
Hewlett Packard Enterprise 製品販売店.....	11
Web サイト.....	12
カスタマーセルフリペア.....	12
リモートサポート（HPE 通報サービス）.....	12
関連情報.....	12

1 新機能

この章は、HP バージョンコントロールレポジトリマネージャー 7.5 Update 2 リリースの新機能を示します。

HPバージョンコントロールレポジトリマネージャー（HPVCRM）には、現在のリリースに以下の機能強化が追加されています。

- Red Hat Enterprise Linux 7.2 オペレーティングシステムのサポート
- SUSE Linux Enterprise Server 12.1 オペレーティングシステムのサポート
- Google Chrome 47.0 のサポート

2 機能および変更通知

HP VCRM と HP VCA は、HP Insight Management で標準の単一サーバー管理ツールである HP SMH と統合されています。また、HP Insight Management に含まれている HP Systems Insight Manager (HP SIM) は、ソフトウェアのバージョン管理、更新、および関連するタスクを容易にするために HP VCRM と HP VCA を使用します。

HP VCRM の機能

- **ソフトウェアの管理**
レポジトリに格納されている HP 製のソフトウェアを管理します。
- **自動更新**
HP の新しい ProLiant ソフトウェアが利用可能になった時点で、そのソフトウェアを受け取ります。
- **Support Pack のアップロード**
アクセス可能なメディアから、レポジトリに Support Pack をアップロードします。
- **ユーザー定義ソフトウェアベースラインの作成**
独自のソフトウェアベースラインを作成します。
- **レポートの生成**
HP VCRM に接続されているすべての HP VCA の総合的なレポート統計情報を生成して表示します。
- **Support Pack のアーカイブ**
Support Pack とコンポーネントのアーカイブを作成します。
- **コンポーネントの構成**
レポジトリの構成可能なコンポーネントを変更します。
- **コンポーネントの信頼**
レポジトリ内のデジタル署名が失敗したコンポーネントを信頼します。

3 問題と回避策

HP VCRM は、各バージョンの製品のリリース前に厳密なテストを行っています。HP の最近のテストにより、以下のような注意すべき事項が見つかりました。

HP VCRM

- **問題：** VCRM の Web ページでゲートウェイタイムアウトが断続的に発生します。
説明： HP VCRM は、複数の Service Pack for ProLiant 製品をサポートしており、HP Systems Insight Manager を使用してこれらのファイルを展開できるようにしています。VCRM がレポジトリとして構成されているフォルダーに Service Pack for ProLiant 製品が限度を超えて大量に格納されていることが原因で、HP VCRM の Web ページがゲートウェイタイムアウトエラーを断続的に出力する可能性があります。

回避策：

1. <https://<システム IP>:2381/vcrepository> にアクセスして **[アーカイブ]** タブをクリックします。
2. Service Pack for ProLiant/PSP/コンポーネントの古いバージョンを選択して、**[次へ]** をクリックします。

注記： HPE は、vcrepository で維持する Service Pack for ProLiant 製品は、最新の 3 バージョンだけにすることをおすすめします。

3. **[完了]** をクリックします。

- **問題：** HP バージョンコントロールレポジトリマネージャーが、**[Support Pack のアップロード]** オプションへのアクセスに失敗します。

説明： HP VCRM では、ホームページで利用できる **[Support Pack のアップロード]** オプションを使用して、ユーザーが **Service Pack for ProLiant (SPP)** をアップロードできるようにしています。しかし、ユーザーが **[Support Pack のアップロード]** オプションをクリックしても、該当する詳細を含むアップロードページが開きません。

回避策：

1. 次のパス位置に移動します。

C:\hp\hpsmh\data\cgi-bin\vcrepository\xsl.en
(日本語の場合 - xsl.ja、簡体字中国語の場合 - xsl.zh)

2. メモ帳を使用して、uploadwiz.xml ファイルを開きます。
3. 次の行を探します。

```
<!-- end of localization preface --><xsl:stylesheet version="1.0
```

4. xsl:stylesheet の前の "><" (> と < の間に、不要な値が存在します) を削除して、同じ場所に新しく "><" を再入力します。
5. ファイルを保存します。
6. ホームページを更新して、**[Support Pack のアップロード]** を再度クリックします。

- **問題：** バージョンコントロールレポジトリマネージャーが、500 MB を超えるサイズのファイルのアップロードに失敗します。

説明： **[Support Pack のアップロード]** オプションを使用し、アップロード対象として 500 MB を超えるサイズの Support Pack を選択すると、成功を示す完了メッセージが表示される場合でも、その後、Support Pack はレポジトリへのコピーに失敗します。

回避策： Support Pack を手動でレポジトリにコピーします。

- **問題：**

HP VCRM で、Service Pack for ProLiant 2014.02 が無効と表示されます。

説明：

HP VCRM で、Service Pack for ProLiant 2014.02 が無効と表示されます。これは、次のコンポーネントが Service Pack for ProLiant 2014.02 から欠落しているためです。

- HP ProLiant iLO 2 マネジメントコントローラードライバー for Windows Server 2008 バージョン 1.14.0.0（英語 [米国]、日本語）。
- HP ProLiant iLO 2 マネジメントコントローラードライバー for Windows Server 2008 x64 Edition バージョン 1.14.0.0（英語 [米国]、日本語）。

回避策：

なし

注記： これらのコンポーネントが欠落していても、HP VCRM の SPP の機能に影響はありません。

- **問題：** 自動更新は正常に終了したように見えますが、ファイルがダウンロードされません。
説明： この状況は HP VCRM を使用するよう HP VCA が構成されていなかったり、HP VCRM の [オペレーティングシステム用の HP ProLiant および HP Integrity Support Pack のダウンロード] 設定ページでオペレーティングシステムが選択されていなかったりする場合に発生します。
回避策： この問題を解決するには、HP VCRM を使用するよう HP VCA を少なくとも 1 つ構成するか、HP VCRM の [レポジトリおよび自動更新の設定] オプションを使用して、[次へ] をクリックし、HP VCRM の [オペレーティングシステム用の HP ProLiant および HP Integrity Support Pack] 設定ページを開いて、自動更新プロセスによってダウンロードされるオペレーティングシステムのリストからいずれか 1 つを選択します。
- **問題：** [Support Pack の選択] を選択すると、その Support Pack に含まれるすべてのコンポーネントが選択されます。
説明： ユーザー定義ソフトウェアベースラインを作成するときに [Support Pack] を選択すると、その Support Pack に含まれるすべてのコンポーネントが選択されます。
回避策： 含めたくない場合は、Support Pack からそのコンポーネントを外すことができます。
- **問題：** CERN プロキシの使用。
回避策： CERN プロキシを使用している場合、HP は、FTP プロキシポートの代わりに HTTP プロキシポートを使用するよう HP VCRM を構成することをおすすめします。
- **問題：** プロキシ機能のテスト。
説明： 次のプロキシアプリケーションは、プロキシサーバーを使用して HP VCRM の [自動更新] 機能のテスト中に使用されます。テストの多くは、デフォルトプロキシセットアップとさまざまなセキュリティ設定でテストされます。ただし、異なるユーザーがサイト固有のセキュリティルールを定義し、多くの異なる方法でプロキシサーバーの構成を行うことができます。

プロキシアプリケーション	パスワード付きユーザー証明	IP アドレス証明書	パス/障害	注
Microsoft ISA server	可	可	成功	
Microsoft ISA	不可	可	成功	
WinProxy	なし	可	成功	
Wingate	可	可	失敗	Java 証明書を使用

- **問題**：HP VCRM は、ドライバーが 2 つあっても、1 つのドライバーだけを表示します。

説明：[ソフトウェアバージョンコントロール] テーブルには 2 つのドライバーが表示されます。また、HP VCA の [インストールされているバージョン] の欄にも 2 つのドライバーが表示されます。

影響を受けるコンポーネントパックは、次のとおりです。

 - CP003718 (Cpqcissm.sys および Cpqcissme.sys ドライバーが含まれます)
 - CP003746 (Sysmgmt.sys および Cpqasm.sys ドライバーが含まれます)
 - CP003745 (Sysmgmt.sys および Cpqasm2.sys ドライバーが含まれます)
- **問題**：HP VCRM で正常にコンポーネントを構成した後で、[カタログ] が自動で更新されるまで、[カタログ] ページの Support Pack の隣に無効なアイコンが表示されます。

回避策：HP VCRM の [カタログ] ページを更新して、適切なステータス（緑色のフラグ）を表示します。
- **問題**：VCRM 7.0 またはそれ以前のバージョンでは、Service Pack for ProLiant (SPP) が正常にダウンロードされます。ただし、ディスク容量を大量に消費するため、カタログに含めることはできません。

回避策：この問題を解決するには、SPP のコンポーネントを手動で抽出してレポジトリにコピーし、コンポーネントを再スキャンします。または、バージョンコントロール 7.1 以降にアップグレードすれば、サポートが追加されて、コンポーネントが自動抽出されます。

4 ドキュメントに関する注意事項

この章では、以下のいずれかまたは両方の情報を提供します。

- **補遺**：この項では、このリリースでは改訂されていない HP バージョンコントロールのドキュメントの更新情報が提供されます。この情報は、将来のドキュメントの改訂に含められます。

このリリースの補足情報はありません。

- **訂正**：この項では、このリリースでは改訂されていない HP バージョンコントロールのドキュメントで更新する必要がある特定の不正確な記述を明らかにする情報が提供されます。この情報は、将来のドキュメントの改訂に含められます。

このリリースの訂正事項はありません。

5 サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトを訪問してください。
<http://www.hpe.com/assistance>
- ドキュメントやサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトを訪問してください。
<http://www.hpe.com/support/hpesc>

収集する情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、およびシリアル番号
- オペレーティングシステムの名前およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートとログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品には、製品インターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムがあります。ご使用の製品のドキュメントを確認して推奨されるソフトウェアのアップデート方法を確認してください。
 - 製品アップデートをダウンロードするには、次のいずれかにアクセスします。
 - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：
<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
 - Software Depot の Web サイト：
<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
 - お客様の利用権限を確認および更新して、契約および保証をプロファイルにリンクするには、次に示す Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページにアクセスします：
<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>
- ① **重要:** Hewlett Packard Enterprise サポートセンターを経由して一部のアップデートにアクセスするときに、製品資格が必要となる場合があります。関連する資格を使って HP パスポートをセットアップしておいてください。

HP が所有していないソフトウェアコンポーネントについてのセキュリティ報告およびアラートポリシー

HP 製品には、オープンソースソフトウェア（OpenSSL など）や他社製ソフトウェア（Java など）が含まれることがあります。HP では、Insight Management のエンドユーザー使用許諾契約書（EULA）にリストされている HP が所有していないソフトウェアコンポーネントが

Insight Management とともに収録されていることを明らかにしています。EULA は Insight Management DVD ISO ファイルに含まれています。

HP では、EULA でリストされているソフトウェアコンポーネントのセキュリティ報告について、HP 製品に対するサポートと同レベルのサポートで対応しています。また、セキュリティ上の問題の削減に取り組み、そのような問題が発生してもユーザーがそのリスクを軽減できるよう支援しています。

HP は、セキュリティ上の問題が発見された場合に備え十分定義されたプロセスを用意しており、その成果がセキュリティ報告の公開です。セキュリティ報告には、問題に関する高レベルでの説明とセキュリティ上の問題を軽減するための方法の解説が掲載されています。

サブスクリプションサービス

Hewlett Packard Enterprise は、以下の「Subscriber's Choice for Business」Web サイトでご使用の製品を登録することをおすすめします。

http://www.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html

登録を済ませると、製品のアップグレード、ドライバーの新しいバージョン、ファームウェアアップデートなどの製品リソースに関する通知を電子メールで受け取ることができます。

ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスへの登録

Insight Management には、1 年間、24 時間年中無休の HPE ソフトウェアテクニカルサポートおよびアップデートサービスが含まれています。このサービスは、ソフトウェアの実装および操作に関する問題を解決するための支援情報についての HP テクニカルリソースへのアクセスを提供します。

このサービスはさらにソフトウェアアップデートおよびリファレンスマニュアルへのアクセスを提供します。Hewlett Packard Enterprise から、電子形式のデータとして入手することができます。

このサービスで、Insight Management のお客様は、効率の良い問題解決およびソフトウェアアップデートの通知と入手を受けることができます。このサービスについては詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/services/insight-ja>

ソフトウェアテクニカルサポートとアップデートサービスの使用方法

ソフトウェアのアップデートがリリースされると、最新バージョンのソフトウェアとドキュメントが入手できるようになります。ソフトウェアアップデートおよびライセンスのポータルは、Hewlett Packard Enterprise ソフトウェアサポート契約に基づく製品のソフトウェア、ドキュメントライセンスアップデートへのアクセスを提供します。

このポータルには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスできます。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

プロファイルを作成し、サポート契約をプロファイルにリンクした後で、<http://www.hpe.com/info/hpesoftwareupdatesupport>にあるソフトウェアアップデートおよびライセンスのポータルを参照し、ソフトウェア、ドキュメントおよびライセンスアップデートを取得してください。

Hewlett Packard Enterprise 製品販売店

最寄りの Hewlett Packard Enterprise 製品販売店は、次の方法で調べることができます。

- 米国内の場合は、「Hewlett Packard Enterprise U.S. Service Locator」の Web サイトを参照してください。

パートナーを探す

- その他の地域では、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトを参照してください。

Contact HPE Support Worldwide

Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	http://www.hpe.com/info/enterprise/docs
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	http://www.hpe.com/support/hpesc
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	http://www.hpe.com/assistance
サブスクリプションサービス/サポートアラート	http://www.hpe.com/support/e-updates-ja
Software Depot	http://www.hpe.com/support/softwaredepot
カスタマーセルフリペア	http://www.hpe.com/support/selfrepair
Insight Remote Support	http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs
HP Insight Control	http://www.hpe.com/jp/insightcontrol
HPE System Insight Manager	http://www.hpe.com/jp/hpsim

カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise のカスタマーセルフリペア（CSR）プログラムは、お客様自身が製品の修理を行えるようサポートするサービスです。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSR が適用されません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

関連情報

次の製品の最新ドキュメントは **Hewlett Packard Enterprise Information Library** で入手できます。

- HP バージョンコントロールレポジトリマネージャー
 - 『HP バージョンコントロールレポジトリマネージャーユーザーガイド』
 - 『HP バージョンコントロールインストールガイド』
- HP Insight Control のドキュメント
- HP System Insight Manager のドキュメント